



平成20年2月7日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ベンチャーファンドへの出資決定について

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）は、新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド出資事業）においてイノベーション・エンジン株式会社を無限責任組合員とするイノベーション・エンジン三号投資事業有限責任組合に15億円の出資を2月1日に決定いたしました。

本組合は、日本優位の先端技術から生まれる成長産業にフォーカスした投資を行い、投資先に対しては主にリードインベスターとして経営支援を実施していくファンドになっています（詳細は別紙）。

（参考）

新事業開拓促進出資事業の実績（ベンチャーファンド）

ファンド総数	ファンド総額	うち機構出資額	投資先企業数	公開企業数
80	1,284 億円	501 億円	1,868 社	85 社

1) ファンド総数・ファンド総額・機構出資額・公開先企業数は12月末現在の数値

2) 投資先企業数は11月末現在の延べ数値

【本件に関するお問合せ先】

独立行政法人中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド審査課〔担当：中里〕

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673

URL <http://www.smrj.go.jp>

(別紙)

・イノベーション・エンジン三号投資事業有限責任組合の概要

イノベーション・エンジン三号投資事業有限責任組合は、イノベーション・エンジン株式会社(東京都港区、代表取締役 佐野睦典)を無限責任組合員として平成20年1月末に設立した投資事業有限責任組合です。

本組合の投資対象は主に製造業で、ユビキタスIT、医療・バイオ、クリーンエネルギー、半導体、光デバイス、MEMS・NEMS、先端材料、超精密計測、超精密加工、ナノデザイン等の先端技術分野に取り組む企業としています。主にリードインベスターとして投資を行い、投資先企業に社外取締役として参画の上、経営体制強化を推進すると同時に、営業支援、企業提携、経営陣の採用等においても種々の支援を実施していくことを活動方針としています。

本組合の最終の出資総額は30億円程度を目標としており、中小機構は最大で15億円の出資を行う予定です。

(参考)

新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド）について

中小機構の新事業開拓促進出資事業は、国内の成長初期段階（アーリーステージ）にあるベンチャー企業に重点的に投資することにより、これらのベンチャー企業の資金調達を円滑化し、健全な成長発展を支援することを目的として平成10年度に開始されました。民間ベンチャーキャピタルが設立する「投資事業有限責任組合契約に関する法律」に基づくファンドへ、中小機構が出資総額の2分の1以内（地方公共団体が出資を行う場合には、地方公共団体の出資と合わせて2分の1以内）で、出資をしております。

【スキーム図】

